

雄冬周辺における海鳥の繁殖記録

長谷部 真

〒078-4116 北海道苫前郡羽幌町 北海道海鳥センター

Records of Seabirds Breeding at Ofuyu Region

Makoto HASEBE

Hokkaido Seabird Center, Haboro-cho, Tomamae-gun, Hokkaido, 078-4116 Japan

Abstract. I surveyed seabirds breeding on Ofuyu region, Hokkaido (43°44'N 141°20'E) in June 2010. Seventy-two nests of Japanese cormorants *Phalacrocorax filamentosus* and three nests of Slaty-backed gulls *Larus schistisagus* were found.

はじめに

雄冬（増毛町南部の集落）は北海道中部の日本海沿岸に位置する（43°44'N 141°20'E, 図1）。雄冬周辺は断崖絶壁が続き、1984年にウミウ *Phalacrocorax filamentosus* とオオセグロカモメ *Larus schistisagus* の繁殖が記録されている（島田, 1984）。以後海鳥の調査は行われていないため、雄冬周辺で海鳥の繁殖状況の調査を行うこととした。

調査方法

2010年6月21日の午前中に岩尾漁港から雄冬岬までの7.5kmの区間を車でゆっくり走行し（図1）、車窓から陸上にいる海鳥を観察した。陸上にいる海鳥を観察した場合、車から下り双眼鏡と望遠鏡を用いて周辺に巣がないか探索した。

調査結果と考察

姿を確認した海鳥はウミウとオオセグロカモメであった。ウミウ72巣とオオセグロカモメ3巣を数えた（図1）。ウミウの巣が確認されたのは雄冬岬トンネルから海に突き出した崖（24巣, 図2）と赤岩岬（48巣）であった。オオセグロカモメの巣が確認されたのは赤岩岬（1巣）と岩尾漁港につな

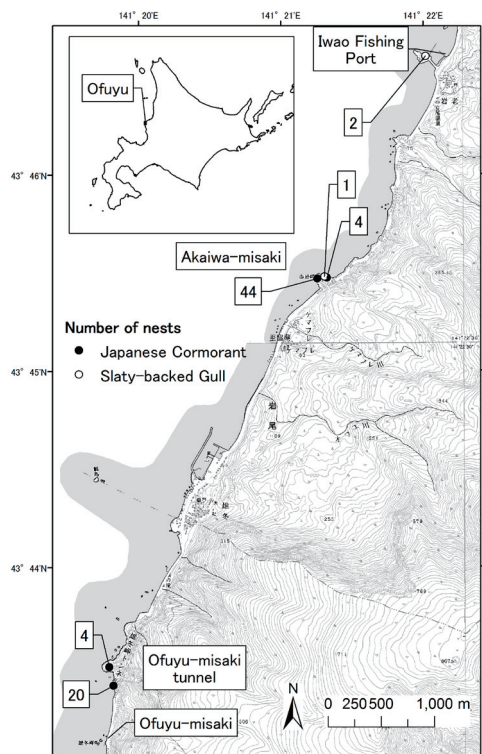


図1. 雄冬周辺におけるウミウとオオセグロカモメの繁殖位置と数。

Figure 1. The location and number of nests of Japanese cormorants and Slaty-backed gulls at Ofuyu region.



図2. 雄冬岬トンネル（右）とウミウ繁殖地（中央）。
Figure 2. Ofuyu-misaki tunnel (right) and Japanese cormorant colony (center).

がった岩（2巣）であった。岩尾漁港につながった岩ではハシブトガラス1巣を発見した。

同様な調査方法で行われた島田（1984）の結果はウミウ80巣とオオセグロカモメ7巣であり、ウミウの巣数に大きな変化はなかった。雄冬周辺はトンネルが多く、陸上から観察可能な崖は一部に過ぎない。海上からの調査を行うことにより、海鳥繁殖地の全体像が明らかになることが期待される。

参考文献

島田明英, 1984, 鳥類, 北海道編, 暑寒別・天売・焼尻国定公園指定促進調査(自然環境)報告書(動物編): 7-24, 北海道, 札幌.